

一集落一農場で楽しみながらの法人経営 ～農事組合法人 吉田～

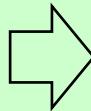
経営体の概要

事業実施前

平成17年 吉田上生産集団設立

平成18年 吉田上生産組合設立

平成27年 農事組合法人吉田設立



現在 在：平成30年度

基幹作物：水稻、はだか麦、大豆、さといも、ブロッコリー 等

経営面積：52ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

国営事業により開発された冬季用水が平成23年度に通水し、農業用水が年間を通して安定的に確保されたこと、また、平成28年度に国営緊急農地再編整備事業「道前平野地区」が着工することを契機として、平成18年に設立した吉田上生産組合を平成27年に法人化している。

地域の担い手として、活動範囲を吉田地区全体に拡大し、農地集積による経営規模の拡大、雇用確保、法人化による経理の透明性や営農組織運営の円滑化とともに、農地の遊休化抑制や荒廃農地解消も図られ、地域農業の維持・発展に貢献している。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

年間を通して安定した農作業の確保、単位面積当たりの収益性の向上、女性・高齢者の活躍の点から、さといも等を導入している。栽培技術の習得等のため、全構成員が積極的にJAや県の指導を受け、栽培技術の高度化を図ることで安定的な収量確保や良質な作物生産に繋がり、徐々に生産規模を拡大している。



さといもの栽培ほ場



大豆の収穫作業

②省力化

農作業機械の大型化だけでなく、大豆播種機の独自改良を進め、効率かつ効果的な作業管理による燃料費の低減や労働時間の縮減を実現している。また、各責任者が機械利用計画を作成し、稼働ロスの少ない機械運営や総動員による短期集中的な適期作業を行うことで、生産コスト低減や円滑な作業体系を確立している。



女性部によるワークショップの様子

③担い手の育成・確保

構成員の年齢構成が高齢化し、今後の法人の存続が難しくなることが想定されることから、平成29年度から農業大学校の研修生を2名受入れるなど新規就農者の確保に努めている。また、女性部では、積極的な農作業への参加や視察研修の開催で見識を広げており、ワークショップなどを通じて仲間づくりと女性の活躍の場を広げている。

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業「道前道後平野地区」

関係市町：愛媛県西条市、松山市、伊予市、東温市、伊予郡松前町、砥部町

受益面積：10,318ha

事業期間：平成元年度～平成25年度

事業目的：用水改良

主要工事：ダム（新設）1カ所、ダム（改修）1カ所

用水路（改修）24km、管水路（新設）2km

位置図（愛媛県）



<局問い合わせ先>

中国四国農政局

農村振興部農地整備課

電話：086-224-4511

（内線：2562）

（平成30年度調査時点）